



国崎クリーンセンターと「くにっぺ」

くにさき 国崎クリーンセンター啓発施設 環境楽習館 ゆめほたる

——循環型社会形成を目指した、
地域まるごと環境学習——



国崎クリーンセンター啓発施設 所長 ^{すずき えいいち} 鈴木 榮一

国崎クリーンセンターは、兵庫県川西市・猪名川町、大阪府豊能町・能勢町の1市3町で設立した猪名川上流広域ごみ処理施設組合が、2009（平成21）年に設置した世界トップクラスのごみ処理施設です。「ゆめほたる」は、その環境啓発施設として誕生しました。施設見学をベースに、ごみ問題や環境問題とその解決に向けた啓発（啓発展示、講演会の開催、地域との連携等）をはじめ、フリーマーケットやリサイクル工房での活動、周辺緑地・里山を利用しての自然学習や里山保全を通じ、ごみ減量や環境保全の取り組みの場を提供し、情報発信する、循環型社会構築へ向けた拠点施設を目指しています。また、地域のみなさんに親しみやすくわかりやすいビジョンとして、地域まるごと環境学習をテーマに、「つながる環境ミュージアム」への飛躍を目標としています。

■ 環境楽習館 ゆめほたる

増え続ける年間利用者数

「ゆめほたる」は、開館時から指定管理（株）トータルメディア開発研究所）で運営しています。開館から3年度目まで毎年度13千人前後、4年度目に17千人、そして5年度目の昨年度は28千人＝人口対比で10%を越え（※同規模同等施設は平均5%程度）、2014年秋には、利用者累計10万人を達成する見込みです。

立地は公共交通から1時間以上歩かなければならない山奥の場所にあるので、開設前は年間利用者数8千人程度とされていました。地域の支援により、3倍以上の成果を得ることができました。

3つの理念（コンセプト）

「ゆめほたる」は、ミッションテーマ「つながる環境ミュージアム」を目指し、3つの理念（コンセプト）を掲げています。

ミッション つながる環境ミュージアム	環境ネットワークの構築	(1) 市民と連携した企画・運営機能の構築 (2) 学校・大学等との連携 (3) 地元企業・NPO法人等との連携
	地域とともに成長する活動	(1) ゆめホタルクラブによる活動 (2) 地域の市民活動、研究者との連携 (3) 市民による創作発表（市民ギャラリー機能） (4) 地域の環境保全団体や研究者への支援活動 (5) 地域への出前サービス用プログラムの整備
	地域の環境学習活動拠点	(1) 環境保全・資源の有効利用などについての最新情報の調査・資料収集及び展示 (2) 地域ゆかりの環境資源や産物に関する調査及び活動 (3) 自然学習ゾーン（里山）に関する調査及び活動 (4) 地域をテーマに環境学習プログラムや展示を整備

○ネットワークの構築

「ゆめほたる」は、幅広く地域の人々をつなぐネットワークのハブとして機能し、環境に関する人やモノ・情報を集め、発信する役割を担います。

○地域とともに

地域とともに、地域を原動力として、成長する施設です。また、地域の次世代を担う子どもたちの学びの場となります。

○地域の拠点へ

未来へ向けた創造性あふれる環境学習の拠点（ハブ）として、新たな地域文化や地域振興に寄与します。

■ ゆめほたるの事業概要

運営概要と広報

地球レベルでの観点から、自分を取り巻く生活レベルでの近接的な観点まで、人と自然とのかかわりを理解してもらうため、廃棄物リサイクルを中心に、次のような自主事業を展開しています。

- ・ 環境情報センター
 - 博物館、研究・教育機関連携
 - 企業の廃棄物リサイクル連携
 - ・ 講演・講習会・研究会等
 - ・ 各種リサイクル系ワークショップ
 - 修理工房、制作工房、軽作業室
 - ・ 四季折々の大型催事およびファミリーフリーマーケット
 - ・ 屋外観察会
 - 野鳥、ホタル、草木など
 - ・ ゆめほたるクラブ運営、講師制度
 - ・ バスツアー（視察、観察など）
 - 「ごみの行方をたずねて」、
 - 「エドヒガン花見バスツアー」など
 - ・ 里山系活動
 - ドッグラン、珈琲講座、木工工作
- 詳しい運営内容はHPをご覧ください。

<http://www.kunisakicc.jp/>

また、「ゆめほたる」では、開催する各種行事へできるだけ多くのおみなさんに参加いただくため、広報に注力しています。

年間6回の広報紙（地域9万世帯分）のほか、毎月のチラシ（小中学校等2万枚）、ほぼ毎日更新するホームページ・ブログ・SNS、毎月のメールニュース（登録数250）、および随時のプレスリリース（チラシと同時）などで、地域をはじめ全国・全世界へ情報発信しています。

地域まるごとの連携活動

「ゆめほたる」では、毎年秋の「地域まるごと里山まつり」をはじめ、多目的広場を活用して、地域の青少年育成へ向けた主催事業「ゆめほたるカップ」（少年サッカー大会）の開催、地域の催事との連携活動「祝祭のまち実行委員会」の立ちあげなど、地域連携事業を積極的に行い、高い評価をいただいています。

2013年度は商工会へ施設として加入するなど、「地域になくってはならない施設」を目指し、地域のみなさんとの連携活動を年々深めています。

また、地域まるごとミュージアムの「北摂里山博物館構想」の拠点の一つにもなっています。

■ 今後の課題と運営のポイント

現在、地域のごみ減量化へ向けた、次の新たなとり組みを進めています。

- ・ 地域まるごとエコパートナー制度
- ・ ベビー用品のリユース
- ・ 里山を利用したエコ活動

これらで利用するエコポイントを本誌4号で紹介されているおもちゃのリユース「かえっこバザール」で統一します。おもちゃのリユースからエコ活動まで、同じポイントが使えるシステムを地域から広げようと考えています。

また、職員のスキルアップへ向けた取り組みとして、環境系資格の取得、研究会・研修会へ積極的な参加を推奨しており、他施設への視察や研修を行い、ノウハウやアイデアを吸収するよう努めています。

一方、ボランティアや地域の活動団体向けに、里山保全技術に関するセミナー開催などの取り組みも行い、地域と共に施設のレベルアップを図っています。

